

アイシン軽金属株式会社の事業適応計画のポイント

令和5年8月28日

当社はCO₂削減を重要経営課題の一つに位置付け、2030年度までに2013年比で50%削減することを目標としております。今回の計画では、アルミダイキャスト用溶解炉設備をエネルギー効率の優れた設備に更新することで製品の製造時に排出されるCO₂を削減し、炭素生産性の向上を図ります。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2024年3月～2025年3月

2. 生産性向上目標

炭素生産性を17.7%向上させる。

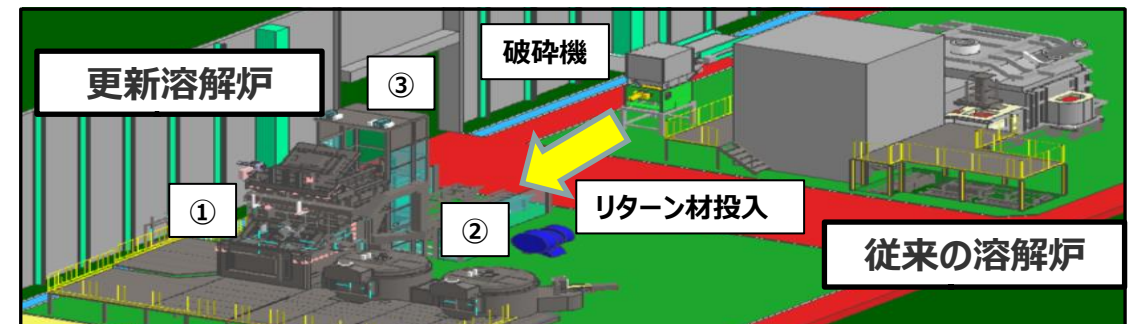
3. 前向きな取り組みの内容

従来の溶解炉に比べ、37%の原単位を向上させる省エネ性向上仕様を盛り込んだ溶解炉を更新導入します。次年度にはリターン材の破砕機導入と生産ラインとの連動性を図り、ライン稼働に合わせた最適溶解をすることで、更なるCO₂排出量を低減し、炭素生産性の向上を図ります。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<取組の内容イメージ>



① 熱交換器による排熱活用

② 保持溶湯量のミニマム化による溶湯保持エネルギー低減

③ 材料破砕により、嵩密度を向上させ排熱を有効活用

